

利休にたずねよ (2013)

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 123分
初公開日 2013/12/07
公開情報 東映
映倫 G

【キャッチコピー】

狂おしき
＜美＞の原点。

【解説】

茶聖と称えられ、侘び茶を極めた希代の茶人、千利休。その人物像に新たな解釈を示し、美に対する尋常ならざる執念とその原点に迫った山本兼一の第140回直木賞受賞作を、前作で同じ山本兼一原作「火天の城」を手がけた田中光敏監督が「一命」の市川海老蔵を主演に迎えて映画化。共演は中谷美紀、大森南朋、伊勢谷友介。また、2013年2月に惜しくもこの世を去った市川團十郎が利休の師匠役で特別出演し、スクリーン上での最初で最後の父子共演が実現した。

1591年（天正19年）、天下人・豊臣秀吉によって切腹を命じられた茶人・千利休。かつては織田信長に茶頭として仕え、その研ぎ澄まされた美意識で名を馳せると、信長落命後は秀吉の庇護のもと、“天下一の宗匠”として不動の名声を獲得した。そして、妻・宗恩が見守る中、自らの腹に刃を立てようとしていた利休の脳裏に、若かりし時代の記憶が甦る。青年時代、放蕩を重ねていた利休は、高麗からさらわれてきた女と出会う。後に師匠となる茶人・武野紹鷗の言いつけにより彼女の世話をすることになった利休は、次第に女と心を通わせていくが…。

【クレジット】

監督	田中光敏
製作	白倉伸一郎
	木下直哉
	重村博文
	間宮登良松
	井澤昌平
	林誠
	菅野征太郎
	羽白勝
	近藤晋
	吉川英作
	清水卓智
	伊藤隆範
	香月純一
プロデューサー	森田大児
	福島一貴
	菅谷英智

協力プロデューサー	天野和人	
アソシエイトプロデューサー	柳迫成彦	
原作	山本兼一	『利休にたずねよ』（PHP研究所刊）
脚本	小松江里子	
撮影	浜田毅	
美術	吉田孝	
衣裳	石倉元一	
編集	藤田和延	
音響効果	柴崎憲治	
音楽	岩代太郎	
音楽プロデューサー	津島玄一	
照明	安藤清人	
録音	松陰信彦	
記録	松澤一美	
衣裳デザイン	宮本まさ江	
助監督	濱龍也	
キャスティングプロデューサー	福岡康裕	
出演	市川海老蔵	千利休
	中谷美紀	宗恩
	伊勢谷友介	織田信長
	大森南朋	豊臣秀吉
	成海璃子	おさん
	福士誠治	石田三成
	クララ Clara	高麗の女
	川野直輝	山上宗二
	袴田吉彦	細川忠興
	黒谷友香	細川ガラシャ
	市川團十郎	武野紹鷗（特別出演）
	檀れい	北政所
	大谷直子	たえ
	柄本明	長次郎
	伊武雅刀	千与兵衛
	中村嘉葎雄	古溪宗陳